

公益社団法人小川町シルバー人材センター 第2期 中期計画概要版

第1章 中期計画策定にあたって

1 趣旨

- 現状 ①小川町は、特に早いスピードで高齢化が進展し、超高齢化社会の到来。
- 課題と役割 ①活力ある地域社会を維持していくため、センターが社会を支える側に回ることが重要。
②社会から求められる役割が重要となる。
- 方向性 ①組織の活性化、就業の拡大、健全かつ持続可能な事業運営の展開が必要。
②センター事業の現状と課題を分析・評価し、目指すべき将来像を描き、その方策を示す。

2 計画期間 令和5年度から令和9年度までの5年間

3 計画の推進

- 計画策定 ①事業の進捗・管理・目標達成状況の確認及び改善を実行し、計画の達成を目指す。

第2章 センターを取り巻く現状と課題

1 会員数の状況

- 現状 ①小川町に総人口の内、65歳以上の人口は増加し、令和4年度末の高齢化率は、41.4%となり、町民の約4割が65歳以上。
②センター会員数は減少傾向で、特に女性の加入率が低い状況。
③センター加入年齢も上がり、会員の60～65歳の年齢構成比が一番低い。
- 課題 ①会員数を増やすことは不可欠である。
②様々なニーズに対応するための、会員のスキルアップと技術の伝承は必要。
③高齢者世帯の増加に伴い、生活支援体制が求められることから、特に女性会員数を増やすことが重要。

2 会員の就業状況

- 現状 ①受注件数全体では減少傾向、ただし令和4年度は、7件増
②民間と個人の受注は増加してきている。
③就業率は、安定的に一定基準を保っている。
④就業延人数は、減少から回復傾向に向かっている。
⑤就業中の事故は減少傾向にある、また就業先の往復路においても事故が発生。
- 課題 ①就業機会の拡大が不可欠、会員数と就業機会のバランスを考慮。
②単発的就業から、より安定的な就業機会の提供が必要。
③適正就業の観点から、派遣事業の就業機会の拡充とローテーション就業を継続して実施。
④安全就業は、各会員の就業や交通事故に対する安全意識の向上、規則の遵守及び技能を高める必要がある。

3 センターの運営状況

- 現状 ①経常収益は減少傾向となっている。
②経営実績を示す経常増減額は、マイナスとなっている。また、財政状況の指標である正味財産も減少している。
③契約金額は、緩やかに回復傾向
- 課題 ①財政面では、支出の見直し、補助金の確保や契約金額を増やすことが重要。
②組織強化を図るため、理事会の活性化や会員相互の組織体制の整備が必要。
③事務局体制の充実、事務の効率化を図ることが重要。
④公営法人として透明性、信頼性を高める必要がある。

4 会員の交流・親睦活動及び社会貢献活動状況

- 現状 ①交流・親睦活動としては、パソコン同好会。創作展はコロナウイルス感染防止のため、開催を見合わせている。
②社会貢献活動として、ボランティアによる道路の美化に貢献。
- 課題 ①新たに設立する団体や既存の同好会などに側面から活動を支援する必要がある。

第3章 目標達成のための計画

1 基本理念

自主・自立、共働・共助

- (1) 豊かで積極的な高齢者の生活の充実
- (2) 社会参加による生きがいの充実
- (3) 地域社会の福祉と活性化の推進

2 計画の基本目標

「基本理念」を達成するための基本目標は次の5つとなります。

基本目標	
I	会員数の確保
II	就業開拓の充実と適正就業
III	安全就業の充実
IV	安定かつ持続的な事業運営の推進
V	会員の交流・親睦活動及び社会貢献活動の促進

3 基本計画

基本目標 I	会員数の確保
① 会報誌やホームページを利用したの募集 ② イベントなどでの普及啓発活動 ③ 入会説明会の際、センターの魅力など積極的な PR ④ 女性会員の増強 ⑤ 口コミなどによる会員の確保 ⑥ 会員意向調査アンケートの実施 ⑦ 高齢会員への支援	
基本目標 II	就業開拓の充実と適正就業
① 就業先の定期的な訪問と会員による就業開拓の強化 ② 新規就業開拓の推進 ③ ホームページ等を活用したの就業拡大 ④ 未就業会員の就業対策と就業率の向上 ⑤ ローテーションとワークシェアリング就業の徹底 ⑥ 派遣事業の拡充 ⑦ 各種講習会の開催と会員のモラルや技術・技能の向上	
基本目標 III	安全就業の充実
① 安全・適正就業委員会の開催 ② 安全就業基準の周知及び安全・適正就業義務違反取扱基準の運用実施 ③ 就業開始時の安全 10 か条の徹底と「安全標語」の掲示 ④ 交通安全講習会及び就業に対する安全対策講習会の実施 ⑤ 応急処置講習会の実施 ⑥ 健康診断の受診奨励と自己の健康管理の推進	
基本目標 IV	安定的かつ持続的な事業運営の推進
① 理事会をはじめ各委員会の組織の充実 ② 適宜、業務の見直しを図り、経費の削減及び事務の効率化を推進 ③ 契約金額の増額及び補助金制度の積極的活用を図り、安定的財源の確保 ④ 事務局の適正な人員配置と効率的な事務運営を実施 ⑤ 地域班、職域班が適正に機能するよう整備・充実	
基本目標 V	会員の交流・親睦活動及び社会貢献活動の促進
① 創作展を継続的に実施 ② ボランティア活動を継続的に実施 ③ 新たな同好会の設立の推進 ④ 会員の同好会への側面的支援の推進	